

令和2年度

社会福祉法人 能勢町社会福祉協議会

事業報告書

社会福祉法人 能勢町社会福祉協議会

令和2年度 社会福祉法人能勢町社会福祉協議会 事業報告書

1 総括

近年、人々の価値観やライフスタイルの多様化、新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、地域における交流の場の減少やつながりの希薄化など、地域生活や福祉を取り巻く状況は変化しています。

地域の福祉・生活課題が多様化し潜在化する中で、住民が主体的に地域課題を把握し解決するための仕組みづくりと、複合化・複雑化した課題を受け止めながら、包括的・総合的な相談支援体制の確立に向けた新たな地域福祉施策が進められています。

本会といたしましても、多様化が進む個々のニーズや、地域の課題に積極的に介入し、各種福祉制度や福祉サービスだけではなく、住民同士の支え合いや、助け合いの支援、総合相談・生活支援体制の強化を図り、支え合う仕組みづくりや、制度の谷間にある見過ごされやすい問題に対し、地域住民、関係機関、行政と連携し、地域の人々が住み慣れた町で安心して生活することができるよう、地域に根差した活動に取り組みました。

2 事業内容（活動別）

① 法人運営の活動

社協運営活動の充実強化を図るため、組織運営・啓発活動の強化を図り、福祉啓発・財源確保を図るため会員募集を実施しました。更なる地域福祉推進のため、地域福祉活動計画を進め活動充実に努め、次期計画の「第3次能勢町地域福祉活動計画」の作成を行いました。

1. 組織運営強化

(1) 理事会・評議員会等の運営

2. 広報・啓発活動

(1) 社協だよりの発行、ホームページの充実

3. 会員募集

(1) 一般会員、賛助会員等の募集

4. 地域福祉活動計画推進委員会

(1) 地域福祉活動計画推進委員会の運営

(2) 第3次能勢町地域福祉活動計画の作成

(3) 地域福祉計画推進委員会へ参画

② 地域の助け合い活動

地域の助け合い活動を支援するため、地区福祉委員会活動・小地域ネットワーク活動の支援を行いました。
地域活動強化のため、地域課題に即した取組への支援として、地域共生社会推進事業を行いました。

1. 地区福祉委員会活動の支援
 - (1) 地区福祉委員会活動(6 地区)の支援
 - (2) 活動拠点維持管理(旧保育所)
2. 小地域ネットワーク事業の支援
 - (1) 地区福祉委員会委員長連絡協議会の開催
 - (2) 各地域のグループ・個別の援助活動(住民活動)の支援
3. 地域共生社会推進事業
 - (1) 地区福祉委員会(6 地区)の地域課題に即した取組への支援

③ ボランティア活動

ボランティアセンターとして、登録・活動需給調整などを行い、ボランティア活動の支援を行いました。
災害ボランティアセンターの取組として、災害ボランティアセンター関係者会議(ネットワーク会議)を行いました。

1. ボランティアセンターの運営
 - (1) ボランティア登録、活動需給調整
 - (2) ボランティア保険取扱
2. 災害ボランティアセンターの取組
 - (1) 災害ボランティアセンター関係者会議(ネットワーク会議)

④ 生活・福祉相談

地域の困りごとに応えるため、心配ごと相談、CSW 活動を行い、相談援助活動を行いました。
自立生活の支援を行うため、生活福祉資金貸付、日常生活自立支援事業の相談援助を行いました。

1. 心配ごと相談の開催
2. コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の活動
 - (1) CSWの配置
 - (2) CSW 連絡会議の開催
 - (3) 能勢町・豊能町コミュニティソーシャルワーカー連絡会の参加
 - (4) 民生委員児童委員協議会への支援
 - (5) 新型コロナウイルス感染症の対応(見守り等)
3. 大阪府生活福祉資金の貸付
4. 日常生活自立支援事業

⑤ 見守り・支え合い活動

見守り・支え合い活動の充実を図るため、ボランティア・施設・団体等と連携し、ふれあい給食サービス・おせち料理の配食を行いました。ひとり暮らし高齢者等への見守りとして、地域自立生活支援事業(見守り訪問)を行いました。地域における支えあいの体制づくりを行うため、地域住民、関係機関・団体と連携し生活支援体制整備事業を行いました。

1. ふれあい給食サービス

- (1) 調理・配食の調整
- (2) ボランティア・施設との連携(見守り体制づくり)
- (3) 安否確認(見守り)の実施

2. おせち料理の配食

3. 地域自立生活支援事業の実施(見守り訪問)

4. 生活支援体制整備事業

- (1) 生活支援コーディネーター(SC)の配置
- (2) 第1層・第2層協議体の開催
- (3) 地域福祉活動アンケートの実施

5. 外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業

⑥ 組織・団体の活動

組織・団体活動の支援を図るため、施設・事業所・団体(グループ)で構成する各組織の運営支援を行い、地域貢献・地域福祉活動の支援を行いました。また、地区募金会、献血推進協議会の活動推進を図りました。

1. 社会福祉施設地域貢献委員会の推進

2. 障がい施設等連絡会の支援

3. 介護保険事業所連絡会の支援

4. ボランティア連絡会の支援

5. 子育てサロン「にこにこ」の支援

6. 共同募金活動の推進(地区募金会)

7. 献血推進事業の推進(献血推進協議会)

⑦ 運送・貸出サービス

運送・貸出サービスを実施し、住民の生活支援を図るため、公共交通空白地有償運送、ふれあいセンター管理運営を行いました。高齢者・障がい者等の支援として、車イスの貸出を行いました。

1. 公共交通空白地有償運送事業(ふれあい号)
 - (1) 運転ボランティアとの連携
2. ふれあいセンターの管理運営(指定管理)
3. 車イスの貸出

⑧ 介護・障がい福祉サービス

介護・障がい福祉サービスの充実強化を図るため、居宅介護支援事業、ホームヘルプサービス事業の強化を図りました。更に関係機関との連携強化を行い、地域住民を支える体制づくりに努めました。

1. 居宅介護支援事業(ケアマネジャー)
 - (1) ケアプラン作成、認定調査の実施
2. ホームヘルプサービス事業(ホームヘルパー)
 - (1) ホームヘルパー派遣
3. 関係機関との連携
 - (1) 関係機関会議・連絡会等へ参画

⑨ シルバー人材センター

会員の技術・知識・経験・能力等を十分に生かし、会員相互の連帯のもと、発注者からの仕事を受け、各人の希望や能力に応じた仕事を提供し、生きがいの充実や健康維持などの活力ある地域社会づくりをめざし活動しました。

1. 需給調整
2. 生きがい対策に関する活動推進
3. 安全パトロールの実施

3 事業内容（会計別）

① 法人運営事業 サービス区分

1. 組織運営強化

組織運営の基盤強化として、理事会・評議員会等の運営を行いました。

(1) 理事会 開催内容

	日時／場所等	議 案
1	令和2年4月13日(月) (書面審議)	【第1号議案】 ホームヘルプサービス事業所のキャリアパス及び職務手当に関する規程(案)の件 【第2号議案】 慶弔規程(案)の件 【第3号議案】 監事候補者推薦の件
2	令和2年6月2日(火) (書面審議)	【報告第1号】 令和元年度 補正予算専決報告(第2号)について 【第1号議案】 令和元年度 事業報告(案)について 【第2号議案】 令和元年度 決算(案)について 【第3号議案】 定時評議員会(第2回評議員会)の開催について 【第4号議案】 評議員候補者の推薦について 【第5号議案】 評議員選任・解任委員の選任について 【第6号議案】 評議員選任・解任委員会の開催について
3	令和2年8月5日(水) (書面審議)	【報告第1号】 令和2年度 補正予算専決報告(第1号)について
4	令和3年3月17日(水) 午後1時30分～ (社協)	【第1号議案】 令和3年度 事業計画(案)について 【第2号議案】 令和3年度 予算書(案)について 【第3号議案】 役員等賠償責任保険契約の内容の決議(案)について

(2) 評議員会 開催内容

	日時／場所等	議 案
1	令和2年4月22日(水) (書面審議)	【第1号議案】 監事選任の件
2	令和2年6月16日(火) (書面審議)	【報告第1号】 令和元年度 補正予算専決報告(第2号)について 【第1号議案】 令和元年度 事業報告(案)について 【第2号議案】 令和元年度 決算(案)について
3	令和2年8月12日(水) (書面審議)	【報告第1号】 令和2年度 補正予算 専決報告(第1号)について
4	令和3年3月26日(金) 午後1時30分～ (社協)	【第1号議案】 令和3年度 事業計画(案)について 【第2号議案】 令和3年度 予算書(案)について

(3) 評議員選任・解任委員会 開催内容

	日時/場所等	議案
1	令和2年6月5日(金) (書面審議)	【第1号議案】評議員の選任について

2. 広報・啓発活動

社協事業・地域福祉活動等の発展・強化のため、活動の周知を図りました。

(1) 広報誌「のせ社協だより」の発行

回数	部数	方法
6回 (5、7、9、11、1、3月)	4,850部	町広報折込

(2) ホームページの充実 随時更新

3. 会員募集

地域福祉活動への理解や参画を得、社協活動に対する住民みなさんの関心を深めるとともに、地域福祉の向上を目的に、住民世帯・個人・団体・法人の方々へ会員募集を行いました。

社協会員の詳細

会費種類	対象者	会費金額	会員内容
一般会員	住民世帯(区・自治会)	年額1口 500円	社協会員の基礎をなす会員
賛助会員	個人・団体・法人	年額1口 3,000円	より賛助的意味合いの強い会員
特別賛助会員	個人・団体・法人(町外含む)	年額1口 10,000円	

〈会費使途〉一般会員会費の50%は地区福祉委員会の活動財源として地域の実情に応じた福祉活動に活用し、残りの50%と賛助・特別賛助会員会費は、社協の事業財源として全町的な取り組みに活用しました。

(1) 一般会員 (会費)

地区名	区・自治会数	会員数	口数	金額(円)
歌垣	8	275	275	137,500
田尻	4	245	245	122,500
久佐々	12	580	580	290,000
岐尼	11	808	808	404,000
天王	1	53	53	26,500
東郷	7	339	339	169,500
合計	43	2,300	2,300	1,150,000

〈昨年度実績〉区・自治会数(43)、会員数(2,425)、口数(2,425)、金額(1,212,500)

(2) 賛助・特別賛助 会員 (会費)

種 類		会員数	口 数	金額 (円)
賛助会員	団体・法人	9	9	27,000
	個 人	54	54	162,000
特別賛助会員	団体・法人	2	4	40,000
合 計		65	67	229,000

〈昨年度実績〉 会員数(65)、口数(75)、金額(232,000)

(3) 会員募集 全体

種 別	会員数	口 数	金額 (円)
一般会員	2,300	2,300	1,150,000
賛助・特別賛助 会員	65	67	229,000
合 計	2,365	2,367	1,379,000

〈昨年度実績〉 会員数(2,490)、口数(2,500)、金額(1,444,500)

4. 能勢町地域福祉活動計画推進委員会

地域福祉や社会福祉に関する機関・団体の方々と協力して、地域福祉推進を目指して「地域福祉活動計画」を推進し、次期計画の「第3次能勢町地域福祉活動計画」の作成を行いました。

(1) 能勢町地域福祉活動計画推進委員会の運営

① 構成団体(17 団体)

能勢町民生委員児童委員協議会、能勢町ボランティア連絡会、特別養護老人ホーム青山荘、能勢町障がい施設等連絡会、能勢町区長会、豊能地区更生保護女性会、能勢町障害者福祉会、能勢町福祉部、能勢町国民健康保険診療所、地区福祉委員会(歌垣・田尻・久佐々・岐尼・天王・東郷)、能勢町シルバー人材センター、能勢町社会福祉協議会

② 能勢町地域福祉活動計画推進委員会の開催

	日時／場所等	議案
1	令和2年6月30日(火) (書面審議)	(1) 委員長・副委員長の選出について (2) 第2次能勢町地域福祉活動計画の進捗状況について (3) 第3次能勢町地域福祉活動計画の策定・意見集約の方法(地域懇談会等)について (4) 今後の予定について
2	令和3年1月29日(金) 午後1時30分～ (社協)	(1) 地域福祉活動に関するアンケートの報告について (2) 第3次能勢町地域福祉活動計画(案)の検討について (3) 今後の予定について
3	令和3年3月22日(月) 午後1時30分～ (社協)	(1) 第3次能勢町地域福祉活動計画(案)について (2) その他

(2) 能勢町地域福祉活動計画の作成

① 地域福祉活動に関するアンケートの実施

各地域でアンケートを実施 (地区福祉委員会 役員 84名)

② 第3次能勢町地域福祉活動計画 (能勢町社会福祉協議会 発展・強化計画) を作成

(3) 能勢町地域福祉計画推進委員会への参画 (能勢町主催)

4回	日程	令和2年7月30日(木)、令和2年12月17日(木)、令和3年1月20日(水)、令和3年2月24日(水)
----	----	--

5. 地域自立生活支援事業の実施 (見守り訪問)

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を中心に、その対象者宅を訪問することにより、高齢者の安全を確保するため見守り訪問を実施しました。

(1) 実施内容

利用可能日	月～金曜日(1回～5回)	事業内容	ひとり暮らし高齢者等への見守り訪問
利用方法	保健福祉センター窓口へ申請	実施方法	社協職員、個人ボランティア・民児協委員

(2) 利用者数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	15	14	14	13	13	12	14	15	14	14	14	16	168
訪問回数	108	93	116	97	90	81	99	86	101	101	102	131	1,205

(昨年度実績) 実人数(100)、訪問回数(821)

6. ふれあいバザー

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

7. 車いすの貸出

高齢者・障がい者や一時的な病気・けがをされた方などを対象に、車いすを貸出しました。

(1) 利用件数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	10	12	8	7	4	7	10	7	8	7	7	7	94

〈昨年度実績〉 利用件数(116)

(2) 寄贈

寄贈日	寄贈団体	内容
令和2年7月14日(火)	ピップ株式会社	車いす 2台

8. 共同募金活動の推進（地区募金会）

毎年10月1日から12月31日まで、赤い羽根共同募金運動を実施しました。

募金種類	金額(円)	内容	募金種類	金額(円)	内容
戸別募金	723,800	47区・自治会	バッジ募金	45,500	91個
法人募金	754,050	100件	カード募金	120,000	図書カード 56枚、クオカード 184枚
学校募金	38,244	3校	その他	1	利息
窓口募金	19,670	募金箱 他	募金合計		1,701,265

〈昨年度実績〉 募金合計(1,745,007)

9. 他機関・団体との連携

事業名	連携内容
しあわせ守り隊（能勢町）	協力
能勢町人権と平和のつどい実行委員会（能勢町）	参画
豊能町・能勢町地域自立支援協議会本部会議、能勢町地域会議（能勢町）	参画
能勢町障害者計画等推進委員会（能勢町）	参画
北摂地域介護人材確保連絡会議（府社協）	参画

10. 法人運営事業 収支決算（資金収支内訳表を転記）

事業活動収支	金額(円)	施設整備等・その他の活動による収支	金額(円)
会費収入	1,379,000	施設整備等収入計 (4)	0
寄附金収入	672,129	施設整備等支出計 (5)	0
経常経費補助金収入	1,723,150	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0
事業収入	89,615	その他の活動収入計 (7)	6,700,000
受取利息配当金収入	619	その他の活動支出計 (8)	8,106,964
その他の収入	71,999	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△1,406,964
事業活動収入計 (1)	3,936,512	当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)	1,469,622
事務費支出	841,926	前期末支払資金残高 (11)	11,324,816
負担金支出	218,000	当期末支払資金残高 (10)+(11)	12,794,438
事業活動支出計 (2)	1,059,926	収支差額は、 当期末支払資金残高	収入計 (1)+(4)+(7)+(11) 21,961,328
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	2,876,586		支出計 (2)+(5)+(8) 9,166,890

② 小地域ネットワーク活動推進事業 サービス区分

1. 地区福祉委員会活動の支援

社協とともに、地域福祉の推進を図ることを目的に設置され、各種団体や関係者などで構成されている住民主体の組織です。各地域の活動を支援しました。

(1) コミュニティワーカー(CoW)の配置 4名(地区福祉委員会担当)

地域における住民福祉組織(地区福祉委員会等)や住民主体の地域福祉活動を支援しました。

(2) 地区福祉委員会活動(6地区)の支援

地区福祉委員会名	歌垣地区、田尻地区、久佐々地区、岐尼地区、天王地区、東郷地区
主な活動内容	友愛訪問、いきいきサロン、いきいき百歳体操 など

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になった活動あり。

(3) 活動拠点の維持管理(旧保育所)

ふれあい会館の管理(旧田尻保育所)

2. 小地域ネットワーク活動の支援

小地域(旧小学校区)を単位として、地区福祉委員会を中心としながら要援護者一人ひとりを対象に、地域住民による支え合い・助け合い活動が行われています。各地域の活動を支援しました。

(1) 地区福祉委員会委員長連絡協議会

日時/場所等	議案
令和2年6月17日(水)(書面審議)	(1) 能勢町地域福祉活動計画 推進委員のご就任(依頼)について (2) 第3次 能勢町地域福祉活動計画の策定について (3) 意見集約の方法(地域懇談会等)について

(2) 地区福祉委員会へ助成

- ① 地区福祉委員会活動助成金 ② 社協会員会費還元金

3. 地域共生社会推進事業の支援

人口減少や少子高齢化により、今まで以上に地域での支え合いが必要になっていくことから、地区福祉委員会が中心となり、人づくりや住民相互の支え合い機能を強化し、だれもが地域でいきいきと生活できるよう地域課題の解決を図るため実施しました。

(1) 地区福祉委員会へ助成

地域共生社会推進事業助成金（地区福祉委員会の地域課題に即した取組へ補助）

(2) 主な活動(例)

交通弱者に対する移動支援、いきいき百歳体操への支援、いきいきサロン等の強化(参加者を増やすための手法)、地域団体との連携事業(子ども会活動等)、子ども食堂のPR、福祉施設との連携事業(フリースペース)
--

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった活動あり。

4. 小地域ネットワーク活動推進事業 収支決算（資金収支内訳表を転記）

事業活動収支	金額(円)	施設整備等・その他の活動による収支	金額(円)	
経常経費補助金収入	15,752,350	施設整備等収入計(4)	0	
事業活動収入計(1)	15,752,350	施設整備等支出計(5)	0	
人件費支出	11,128,467	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	
事業費支出	320,824	その他の活動収入計(7)	491,941	
助成金支出	4,795,000	その他の活動支出計(8)	0	
事業活動支出計(2)	16,244,291	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	491,941	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△491,941	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	0	
		前期末支払資金残高(11)	0	
		当期末支払資金残高(10)+(11)	0	
		収支差額は、	収入計(1)+(4)+(7)+(11)	16,244,291
		当期末支払資金残高	支出計(2)+(5)+(8)	16,244,291

③ ボランティアセンター活動推進事業 サービス区分

1. ボランティアセンターの運営

ボランティアの相談、登録、ボランティア保険の加入など、さまざまなボランティアへの支援を行い、地域のボランティア活動の拠点としての役割を果たしました。

(1) ボランティア登録

	グループ名	登録日	活動内容	登録数
1	ささゆり会	1986.9	会食・懇親会、ふれあい給食サービス(調理)、イベント手伝い	13
2	ヘルシーのせ	1986.9	ふれあい給食サービス(調理)、イベント手伝い	8
3	ゆめクラブ	1996.8	ミニ・デイサービス	6
4	能勢ヒューマンネットワーク	1999.12	地域清掃	31
5	夢楽らいぶ一座	2005.1	ギター弾き語りショー	4
6	おもてなし屋	2015.4	ふれあい給食サービス(調理)、イベント手伝い	7
7	いどばたかいぎ	2015.12	介護予防体操、脳トレ	12
8	三恵園	2016.4	ふれあい給食サービス(調理)、イベント手伝い	10
9	子ども食堂・る・る	2018.10	子ども食堂	27
10	みんなのひろば「こもれび」	2019.1	居場所作り	6
11	オレンジカフェのせ	2019.8	認知症カフェの運営、啓発活動	15
12	手話サークル	2020.2	ろうあ者の言語である手話を学び、交流する。	6
(1) グループ合計				145
(2) 個人ボランティア			ふれあい給食サービス(配食)、イベント手伝い、施設手伝い	68

〈昨年度実績〉 グループ(13)、グループ登録数(136)、個人登録数(63)

(2) ボランティアグループ活動の推進及び助成

ボランティアグループの活動助成金	ボランティア保険掛金の補助
8グループ(各1万円)	122名(登録ボランティア)

〈昨年度実績〉 活動助成金(6)、保険掛金(126)

(3) ボランティア保険取扱内容

ボランティア保険	ボランティア活動行事保険	非営利有償活動団体保険	合計
292名	438名	5名	735名

〈昨年度実績〉 保険取扱数(4,581)

2. 災害ボランティアセンターの取組

風水害や地震などの大規模災害が発生した際に、被災地の支援ニーズの把握・整理を行うとともに、支援活動を希望する個人や団体の受け入れ調整やマッチング活動を行う災害ボランティアセンター設置に向け、関係者会議を開催しました。

(1) 災害ボランティアセンター関係者会議(ネットワーク会議)

開催日時/場所	内容	参加団体
令和3年 1月29日(金) 午後3時～(社協)	(1)災害ボランティアセンター関係者のネットワークについて (2)災害ボランティアセンター設置・運営の推進について (3)情報交換 (4)今後について (5)その他	地区福祉委員会/能勢町民生委員児童委員協議会/能勢ライオンズクラブ/能勢町社会福祉施設 地域貢献委員会/能勢町ボランティア連絡会/ 能勢町(自治防災課、福祉課)/能勢町シルバー人材センター/能勢町社協

(2) 大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携推進助成事業

① 災害ボランティアセンター設置運営見学会(研修会)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

② 災害ボランティアセンターに関する備品確保

上記の研修会時に使用するために備品購入したものを。

ビブス(50枚)/トランシーバー(5台)・充電池(5台)・充電台(3台)/のぼり(20枚)/一輪車(9台)/シャベル(9本)/ 簡易テント一式・ウエイト(6個)/発電機

3. ふれいあいミニ・デイサービス

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

4. ボランティア活動推進事業 収支決算(資金収支内訳表を転記)

事業活動収支	金額(円)	施設整備等・その他の活動による収支	金額(円)
事業収入	9,683	施設整備等収入計(4)	0
助成金収入	500,000	施設整備等支出計(5)	0
事業活動収入計(1)	509,683	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0
事業費支出	545,261	その他の活動収入計(7)	35,578
事業活動支出計(2)	545,261	その他の活動支出計(8)	0
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△35,578	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	35,578
		当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	0
		前期末支払資金残高(11)	0
		当期末支払資金残高(10)+(11)	0
		収支差額は、 当期末支払資金残高	
		収入計(1)+(4)+(7)+(11)	545,261
		支出計(2)+(5)+(8)	545,261

④ ふれあい給食サービス事業 サービス区分

1. ふれあい給食サービスの実施

高齢者や障がい者等に対して、食事の定期的な提供を通じて、健康の保持、疾病の予防を図るとともに、配食時に安否確認を実施することにより、在宅生活を支援することを目的として実施しました。

(1)実施内容

利用日	月～金曜日（週1～5回）	利用方法	社会福祉協議会に申請	利用料	500円（1回）
調理方法	ささゆり会／おもてなし屋／ヘルシーのせ／三恵園／BOX／喫茶ココロ				
配食方法	個人ボランティア／民児協委員／くりのみ園／おおざとの赤いやね／三恵園／第2三恵園／なごみ苑／すみれ工房／社協職員				

(2)利用者数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	524	479	572	595	548	584	604	564	575	561	555	645	6,806

〈昨年度実績〉利用者数合計(5,786)

2. ふれあい給食サービス事業 収支決算（資金収支内訳表を転記）

事業活動収支	金額(円)	施設整備等・その他の活動による収支	金額(円)
事業収入	3,482,300	施設整備等収入計(4)	0
事業活動収入計(1)	3,482,300	施設整備等支出計(5)	0
事業費支出	3,482,300	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0
事業活動支出計(2)	3,482,300	その他の活動収入計(7)	0
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	その他の活動支出計(8)	0
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0
		当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	0
		前期末支払資金残高(11)	0
		当期末支払資金残高(10)+(11)	0
		収支差額は、 当期末支払資金残高	
		収入計(1)+(4)+(7)+(11)	3,482,300
		支出計(2)+(5)+(8)	3,482,300

⑤ いきいき地域支援事業 サービス区分

1. 心配ごと相談の開催

気軽に相談できる窓口として、日頃の悩みごとやあらゆる生活上の心配ごとについて、相談受付し必要によっては関係機関を紹介しました。

日 時	相談員	場所
毎月第3金曜日 13:30～15:00 (※社協で月～金曜日の 8:30～17:00、随時対応。)	9名 (民児協正副会長、社協正副会長)	社 協

2. コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の活動

地域で困っている人と必要な支援を結びつけたり、地域福祉活動を活性化させるなど主に「地域福祉のつなぎ役」を行い、地区福祉委員会活動支援や支援を要する人に対する相談と個別支援などを行いました。

(1) コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の配置

日 時	相談員	周知等	場所
月～金曜日の 8:30～17:00、随時対応。 (※窓口受付・相談者宅など)	3名(基幹型) ※施設 CSW (3名)	チラシ配布 缶バッジ作成	社 協

(2) 相談内容

相談内容	件数	相談内容	件数
福祉制度・サービスに関する相談	26	多重債務に関する相談	0
生活に関する身近な相談	21	DV・虐待に関する相談	0
健康・医療に関する相談	3	地域福祉・ボランティア活動に関する相談	0
生活費に関する相談	11	住宅に関する相談	3
就労に関する相談	1	子育て・子どもの教育に関する相談	0
財産管理・権利擁護に関する相談	0	地域福祉活動や行事・事業・会議への参加・協力	0
消費者被害に関する相談	0	その他	1
合 計			66

〈昨年度実績〉 相談件数(69)

(3) 相談件数

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
実件数	7	4	7	7	5	6	3	6	5	5	3	3	61
実活動件数	19	8	15	10	14	22	18	13	11	9	7	6	152

〈昨年度実績〉 実件数(69)、実活動件数(157)

3. 連絡会・交流会等

(1)CSW 連絡会議

	日 時	内 容	参加者	場所
1	令和2年8月26日(水) 午後1時30分～	連絡・報告事項について/SSWとの連携について/その他	社協、施設、 福祉係、関係 機関	社協
2	令和2年10月28日(水) 午後1時30分～	連絡・報告事項について/他市町村での支援方法、取組内容について/その他		
3	令和3年3月25日(木) 午後4時～	連絡・報告事項について/その他		

(2)能勢町・豊能町コミュニティーソーシャルワーカー連絡会

日 時	内 容	参加者	場所
令和2年9月9日(水) 午後1時30分～	各法人(施設)の CSW 紹介/事業全般の進捗状況報告/相談支援事例報告/質疑、意見交換/その他	施設、社協、社会貢献支援員、「は ーと・ほっと相談室」相談支援員	社協

(3)能勢町民生委員児童委員協議会(役員会・定例会・部会)への支援

日 時	内 容	参加者	場所
月 1 回	役員会(偶数月)、定例会(奇数月)、部会	社協	能勢町保健福祉センター

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった時もあり。

4. 新型コロナウイルス感染症の対応(見守り等)

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言下において、CSWによる電話確認・個別訪問を行い、安否確認や見守り、情報提供を行いました。

月 別	4月	5月	1月	2月	合 計
対象者(実人数)	121	81	71	106	379
延べ回数	266	557	606	629	2,058

5. 行政書士によるリモート(テレビ電話)でつなぐ無料相談会

大阪府行政書士会による「行政書士によるリモート(テレビ電話)でつなぐ無料相談会」を開催しました。

日 時	相談内容	相談員
令和3年2月22日(月) 午前10時～午後4時	遺言・相続・成年後見、コロナ支援・各種許認可・ 外国人に関すること等	行政書士

※相談者は無し

6. いきいき地域支援事業 収支決算（資金収支内訳表を転記）

事業活動収支	金額(円)	施設整備等・その他の活動 による収支	金額(円)
受託金収入	5,400,000	施設整備等収入計 (4)	0
事業活動収入計 (1)	5,400,000	施設整備等支出計 (5)	0
人件費支出	5,418,652	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0
事業費支出	120,987	その他の活動収入計 (7)	139,639
事業活動支出計 (2)	5,539,639	その他の活動支出計 (8)	0
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△139,639	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	139,639
		当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)	0
		前期末支払資金残高 (11)	0
		当期末支払資金残高 (10)+(11)	0
		収支差額は、 当期末支払資金残高	
		収入計 (1)+(4)+(7)+(11)	5,539,639
		支出計 (2)+(5)+(8)	5,539,639

⑥ 生活支援体制整備事業 サービス区分

1. 生活支援体制整備事業の実施（生活支援コーディネーターの活動）

生活支援コーディネーターを配置し、地域の状況や支援ニーズを把握することから、地域住民主体の生活支援サービスの創出、住民相互の支え合い体制・関係性の構築をめざし住民の支え合い・助け合い活動を推進しました。

(1) 生活支援コーディネーター(SC)の配置 4名

役割	周知
社会資源の把握／地域に不足するサービスの創出や担い手の養成等の資源開発／関係者間の情報共有等／連携のためのネットワーク構築／地域の支援ニーズと取り組みのマッチング	チラシ配布 社協だより掲載

(2) 主な活動内容

	内容
1	地域に出向き、集いの場などに参加し、地域活動の状況把握、並びに生活支援の取組についての情報収集を行った。
2	地区福祉委員会活動(総会、役員会、部会等)の支援並びに情報提供などを行った。
3	能勢町民生委員児童委員協議会(役員会、定例会、部会)、能勢町地域ケア会議、能勢町CSW連絡会議、能勢町障がい施設等連絡会、能勢町介護保険事業所連絡会、能勢町ボランティア連絡会、能勢町社会福祉施設地域貢献委員会等の会議等に参加し、地域の状況把握、生活支援の取組についての情報収集、意見交換を行った。
4	各地区福祉委員会役員の協力をいただき、地域福祉活動に関するアンケートを実施した。今後、アンケート結果を参考に、第2層協議体(地区福祉委員会)で協議予定。
5	新型コロナウイルス感染拡大防止により、外出自粛が要請され地域活動が中止になり、CSW、SCと協力し見守り訪問を強化し、情報提供・安否確認を実施した。見守り強化を行うため、福祉施設CSWにも協力依頼し、地域活動に参加できる仕組みづくりを協議した。

2. 第1層・第2層協議体の開催

協議体については、多様な主体が参画し、定期的な情報の共有、連携強化を図るネットワークの場として設置し運営を行うもので、その設置・運営補佐に向けて取組みを行った。(地域の多様な主体がメンバーとなり、今やっていることや無理なく今できることなどをみんなで話し合う仕組み。＝支え合い会議。)

(1) 第1層協議体の開催

日程	内容	構成	場所
令和3年 3月22日(月)	生活支援体制整備事業について／地域福祉活動に関するアンケートについて	地区福祉委員会委員長連絡協議会、障がい施設等連絡会、ボランティア連絡会、介護保険事業所連絡会、地域包括支援センター、社協	社協

(2) 第2層協議体の活動

地区福祉委員会(旧校区役員会)において、協議体役割、事業内容、地域福祉活動に関するアンケート結果について説明した。

加えて、社会福祉協議会活動、ボランティア活動(配食サービス、見守り活動など)等を周知情報共有を行った。来年度、アンケート結果を参考に各地区福祉委員会と協議の場を作ることを予定。

3. 会議・事業等

会議・事業名(主催・参加)	日程
歌垣地区福祉委員会	10/22
田尻地区福祉委員会	7/29
久佐々地区福祉委員会	6/5、6/18、7/31、8/28、9/10、1/28、3/25
岐尼地区福祉委員会	7/2、1/20、1/22
能勢町障がい施設等連絡会	4/1、5/1、6/1、7/6
能勢町介護保険事業所連絡会(役員会)	4/14、5/26、6/17、7/7、8/4、9/4、10/6、11/4、3/4、3/5
介護保険事業所連絡会、障がい施設連絡会合同会議	11/11
ボランティアグループ会議	8/20、9/24
心配ごと相談	7/17、10/16、12/18、2/19
CSW連絡会議	8/26、10/28、3/25
地域福祉活動計画推進委員会	1/29
第1層協議体	3/22
能勢町民生委員児童委員協議会(役員会、地域福祉部会)	6/17、7/22、8/19、9/23、10/21、11/25、2/16、3/24
地域ケア会議	6/16、6/23、8/25、9/15、10/27
オレンジカフェ(認知症)、連絡会	7/21、8/18、10/20、11/17、12/15、3/16
認知症フォーラム	9/19
こもれび	12/19

4. 地域福祉活動に関するアンケートの実施

各地域でアンケートを実施(地区福祉委員会 役員 84名)

(第3次能勢町地域福祉活動計画(能勢町社会福祉協議会 発展・強化計画)を作成)

5. 生活支援体制整備事業 収支決算（資金収支内訳表を転記）

事業活動収支	金額(円)	施設整備等・その他の活動 による収支	金額(円)
受託金収入	5,041,000	施設整備等収入計 (4)	0
事業活動収入計 (1)	5,041,000	施設整備等支出計 (5)	0
人件費支出	4,395,519	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0
事業費支出	645,481	その他の活動収入計 (7)	0
事業活動支出計 (2)	5,041,000	その他の活動支出計 (8)	0
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0
		当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)	0
		前期末支払資金残高 (11)	0
		当期末支払資金残高 (10)+(11)	0
		収支差額は、 当期末支払資金残高	
		収入計 (1)+(4)+(7)+(11)	5,041,000
		支出計 (2)+(5)+(8)	5,041,000

⑦ 共同募金配分金事業 サービス区分

1. 能勢ふれあいフェスタ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

2. ふれあい会食

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

3. おせち料理の配食

ひとり暮らしの高齢者を対象に、年末におせち料理を配食しました。

(1)実施内容

実施日	令和2年12月31日(木)	利用方法	社協事務局窓口申請・連絡 他	利用料	1,500円
対象者	ひとり暮らし高齢者	利用者数	46人	配食者	民児協委員

〈昨年度実績〉利用者数(37)

4. 組織・団体の活動支援

(1)能勢町社会福祉施設地域貢献委員会の推進

社会福祉施設と社会福祉協議会が連携し、様々な地域福祉課題に協働して取り組み、地域福祉の向上に寄与することを目的に開催しました。

① 構成団体

構成	青山荘、明月荘、くりのみ園、三恵園、宝島福祉会、みんとはうず、ともがき、夢来人の家、社協
----	--

② 開催内容

	日時	内容
1	令和2年10月5日(月) 午後6時～	連絡・報告事項について/地域貢献委員会連携推進助成金事業内容について
2	令和2年12月7日(月) 中止	以降、メール・電話にて協議・検討

③ 大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携推進助成事業

(1) 災害ボランティアセンター設置運営見学会(研修会)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(2) 災害ボランティアセンターに関する備品確保

上記の研修会時に使用するために備品購入したもの。

ビブス(50枚)／トランシーバー(5台)・充電電池(5台)・充電台(3台)／のぼり(20枚)／一輪車(9台)／シャベル(9本)／簡易テント一式／ウエイト(6個)／発電機
--

(2) 障がい施設等連絡会の支援

障がい関係施設と社会福祉協議会が連携し、施設内資源・ノウハウを生かし、社会資源を活用しながら、障がいのある人にとって暮らしやすい町になるよう、障がい者理解、施設理解を高めるために開催しました。

① 開催内容

日程	7/6	時間	午後6時～	場所	社協
構成団体	三恵園、くりのみ園、ともがき、夢来人の家、能勢町社協				

(3) 介護保険事業所連絡会の支援

介護保険法に規定する事業者で組織し、より質の高いサービス提供を追求し地域の介護レベル向上に寄与するため、各事業者間の緊密な連帯等により、利用者の視点に立った良質な介護サービスの提供をめざすことを目的として開催しました。

① 構成団体

さわやか豊能訪問看護ステーション／ケアプランセンターささゆりの里／青山荘在宅サービス供給ステーション／能勢町立東部デイサービスセンター／社会福祉法人芙蓉福祉会特別養護老人ホーム青山荘／ケアプランうたがき／うたがきヘルパーステーション／訪問介護ステーションねこの手／あい愛ケアデイサービス／能勢町地域包括支援センター／能勢町社協居宅介護支援事業所／能勢町社協ホームヘルプサービス、のせ薬局、奥井医院、ケアオフィスのせ、ケアプランひより、たんぼぼ、ほのぼの
--

② 会議

内容	開催日程	時間	場所
定例会	7/7、8/4、9/4、10/6、11/4、3/5	午後1時30分～	社協
役員会	4/14、7/7、8/4、9/4、10/6、11/4、3/5	午後2時30分～	

(4) ボランティア連絡会の支援

能勢町社協ボランティアセンターに登録しているボランティアグループが任意で集まり、自分達の活動だけでなく町内のボランティア活動への参加、情報・意見交換などを行いました。

① ボランティア連絡会

構成グループ	内容
ささゆり会、ヘルシーのせ、コスモス、おもてなし屋、三恵園	定例会（随時）

② 実施内容

	開催日	容
1	令和3年2月25日(木)	大阪府市町村ボランティア連絡会代表者会議
2	令和3年3月18日(木)	ボランティア連絡会役員会

(5)子育てサロンの支援

子育て中の若い親の方々の育児不安や、孤立を軽減するために親同士の交流する場をつくり、仲間づくりの援助を目的に実施しました。

① 実施内容

日時	第2・4金曜日(月2回) 10:00~11:30	利用方法	申込は不要、直接会場へ	場所	社協
スタッフ	民児協委員、ボランティア、能勢町社協	広報・啓発	社協だより、町広報、ホームページ		

② 利用組数(親子)

日程	組数	日程	組数	日程	組数	日程	組数	日程	組数	日程	組数	延べ組数
4/10	中止	6/12	6	8/14	7	10/9	16	12/11	中止	2/12	中止	
4/24	中止	6/26	5	8/28	12	10/23	9	12/18	中止	2/26	中止	
5/8	中止	7/10	10	9/11	16	11/13	10	1/8	中止	3/12	14	
5/22	中止	7/24	6	9/25	12	11/27	11	1/22	中止	3/26	11	

〈昨年度実績〉延べ組数(169)

5. 共同募金配分金事業 収支決算(資金収支内訳表を転記)

事業活動収支	金額(円)	施設整備等・その他の活動による収支	金額(円)	
経常経費補助金収入	1,625,246	施設整備等収入計(4)	0	
事業活動収入計(1)	1,625,246	施設整備等支出計(5)	0	
事業費支出	1,345,246	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	
助成金支出	280,000	その他の活動収入計(7)	0	
事業活動支出計(2)	1,625,246	その他の活動支出計(8)	0	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	
		当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	0	
		前期末支払資金残高(11)	0	
		当期末支払資金残高(10)+(11)	0	
		収支差額は、	収入計(1)+(4)+(7)+(11)	1,625,246
		当期末支払資金残高	支出計(2)+(5)+(8)	1,625,246

⑧ 日常生活自立支援事業 サービス区分

1. 日常生活自立支援事業

日常の中で、自分で判断することが不安になってきた方を対象に、福祉サービス利用の相談支援、預金の払い戻しや預け入れの代行、通帳の預かりなどを行いました。

(1) 実施内容

相談援助件数	今年度契約件数	今年度解約件数	年度末契約件数
123	2	0	5

(2) 利用件数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	3	3	3	3	3	3	4	4	4	5	5	5	45
活動件数	9	9	9	8	10	8	8	10	13	9	13	17	123

〈昨年度実績〉利用者数(40)、活動件数(139)

2. 日常生活自立支援事業 収支決算（資金収支内訳表を転記）

事業活動収支	金額(円)	施設整備等・その他の活動による収支	金額(円)
受託金収入	385,000	施設整備等収入計(4)	0
事業収入	20,950	施設整備等支出計(5)	0
事業活動収入計(1)	405,950	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0
人件費支出	155,000	その他の活動収入計(7)	0
事業費支出	250,950	その他の活動支出計(8)	0
事業活動支出計(2)	405,950	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	0
		前期末支払資金残高(11)	0
		当期末支払資金残高(10)+(11)	0
		収支差額は、 当期末支払資金残高	
		収入計(1)+(4)+(7)+(11)	405,950
		支出計(2)+(5)+(8)	405,950

⑨ 資金貸付事業 サービス区分

1. 大阪府生活福祉資金の貸付

低所得者、高齢者及び障がい者などで償還が見込める世帯を対象に、低利で必要な資金を貸付し、安定した生活を営むために相談受付を行いました。

貸付件数 (※印は、新型コロナウイルス感染症の特例貸付)

資金の種類		申請件数	決定件数
福祉費		1	1
緊急小口資金	通常	2	2
	特例 ※	68	67
総合支援資金	特例 ※	66	66
	再貸付 ※	16	16
合 計		153	152

2. 資金貸付事業 収支決算 (資金収支内訳表を転記)

事業活動収支	金額(円)	施設整備等・その他の活動 による収支	金額(円)
経常経費補助金収入	8,251,163	施設整備等収入計 (4)	0
事業収入	100,000	施設整備等支出計 (5)	0
事業活動収入計 (1)	8,351,163	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0
人件費支出	4,334,710	その他の活動収入計 (7)	0
事業費支出	3,895,877	その他の活動支出計 (8)	0
事務費支出	120,576	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0
事業活動支出計 (2)	8,351,163	当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)	0
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	前期末支払資金残高 (11)	0
		当期末支払資金残高 (10)+(11)	0
		収支差額は、 当期末支払資金残高	
		収入計 (1)+(4)+(7)+(11)	8,351,163
		支出計 (2)+(5)+(8)	8,351,163

⑩ 献血推進事業 サービス区分

1. 献血推進事業の推進

献血への意識向上、普及を図るため、町内で献血車による献血を行いました。

(1)実施内容

実施日	7月27日(月)	10月19日(月)	3月12日(金)	合計
場 所	淨るりシアター	ノセボックス	ノセボックス	
受付者	39	54	57	150
採血者	37	43	56	136

〈昨年度実績〉 実施回数(4)、受付者(194)、採血者(165)

2. 献血推進事業 収支決算 (資金収支内訳表を転記)

事業活動収支	金額(円)	施設整備等・その他の活動 による収支	金額(円)
経常経費補助金収入	80,000	施設整備等収入計 (4)	0
事業活動収入計 (1)	80,000	施設整備等支出計 (5)	0
事業費支出	80,000	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0
事業活動支出計 (2)	80,000	その他の活動収入計 (7)	0
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	その他の活動支出計 (8)	0
		その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0
		当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)	0
		前期末支払資金残高 (11)	0
		当期末支払資金残高 (10)+(11)	0
		収支差額は、 当期末支払資金残高	
		収入計 (1)+(4)+(7)+(11)	80,000
		支出計 (2)+(5)+(8)	80,000

① ふれあいセンター管理運営事業 サービス区分

1. ふれあいセンターの管理運営（指定管理）

住民が気軽に集え、生きがい活動や世代間交流活動等を通じ、心身の健康増進を図る地域福祉活動の拠点施設として、町より指定管理者の指定を受け運営しました。

(1) 利用内容

月別	一般	社協	合計件数	人数	月別	一般	社協	合計件数	人数
4月	0	5	5	33	10月	0	26	26	315
5月	0	0	0	0	11月	2	17	19	248
6月	0	17	17	182	12月	0	4	4	29
7月	0	23	23	331	1月	0	4	4	55
8月	0	20	20	286	2月	0	3	3	20
9月	0	22	22	295	3月	0	25	25	251
合 計						2	166	168	2,045

〈昨年度実績〉 合計件数(315)、人数(4,278)

(2) 施設整備

日 時	内 容	協力者
令和2年7月17日(金) 午後8時30分～12時	草刈・清掃（施設内外の清掃等）	21名(役職員)

2. ふれあいセンター管理運営事業 収支決算（資金収支内訳表を転記）

事業活動収支	金額(円)	施設整備等・その他の活動 による収支	金額(円)
経常経費補助金収入	746,000	施設整備等収入計(4)	0
事業収入	2,860	施設整備等支出計(5)	0
事業活動収入計(1)	748,860	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0
事業費支出	748,860	その他の活動収入計(7)	0
事業活動支出計(2)	748,860	その他の活動支出計(8)	0
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0
		当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	0
		前期末支払資金残高(11)	0
		当期末支払資金残高(10)+(11)	0
		収支差額は、 当期末支払資金残高	
		収入計(1)+(4)+(7)+(11)	748,860
		支出計(2)+(5)+(8)	748,860

⑫ 公共交通空白地有償運送事業 サービス区分

1. 公共交通空白地有償運送事業の実施（ふれあい号）

バス・タクシー等の公共交通機関を利用することが困難な高齢者及び運転免許を保有しない住民等の外出の利便を図ることにより、社会参加の促進及び交通空白地の解消をめざす公共交通空白地有償運送を行いました。

(1) 実施内容

利用日	月～金曜日	登録費	初回時に500円	利用料	約タクシーの半額程度
利用方法	社会福祉協議会に申請	運転者	運転ボランティア、社協職員		

(2) 利用者数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	80	79	99	95	104	87	113	94	134	78	87	129	1,179
実人数	25	19	21	30	25	21	28	28	34	21	28	32	312

〈昨年度実績〉 利用者数(1,386)、実人数(307)

(3) 送迎内容

地区別	歌垣地区	田尻地区	久佐々地区	岐尼地区	天王地区	東郷地区
	11.4%	7.1%	43.1%	34.0%	0%	4.4%

〈昨年度実績〉 歌垣(10.5)、田尻(5.1)、久佐々(30.3)、岐尼(51.4)、天王(0)、東郷(2.7)

利用別	買物	医者	農協・郵便局などの手続き	福祉施設への送迎	保健福祉センター・役場など	町外へ行くためバス停まで	その他
	26.9%	31.3%	4.2%	0.2%	5.9%	22.9%	8.6%

〈昨年度実績〉 買物(17.2)、医者(25.1)、手続き(4.7)、施設(0.4)、役場等(1.3)、バス停(38.0)、その他(13.3)

2. 公共交通空白地有償運送事業 収支決算（資金収支内訳表を転記）

事業活動収支	金額(円)	施設整備等・その他の活動による収支	金額(円)
会費収入	15,500	施設整備等収入計(4)	0
事業収入	892,100	施設整備等支出計(5)	0
事業活動収入計(1)	907,600	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0
事業費支出	738,856	その他の活動収入計(7)	201,646
事務費支出	370,390	その他の活動支出計(8)	0
事業活動支出計(2)	1,109,246	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	201,646
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△201,646	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	0
		前期末支払資金残高(11)	0
		当期末支払資金残高(10)+(11)	0
		収支差額は、収入計(1)+(4)+(7)+(11)	1,109,246
		当期末支払資金残高 支出計(2)+(5)+(8)	1,109,246

⑬ 外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業 サービス区分

1. 外出自粛に伴い安否確認、居場所確保事業

緊急事態宣言期間及び解除後も地域行事、イベントが新型コロナウイルス感染症拡大防止によりほとんどが中止になり、高齢者、障がい者等が集える場所がなくなりました。安否確認を定期的に行うことにより、地域情報、行政情報を提供し孤立防止を目的として、訪問による安否確認、情報提供・ニーズ把握を行いました。

実施体制	能勢町障がい施設連絡会、能勢町地域貢献委員会、施設 CSW、民生委員児童委員協議会、ボランティア
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・能勢町障がい施設等連絡会、施設CSWに事業説明し協力依頼。 ・情報パンフレット等を訪問時に配布。 ・安否確認を行う中で、相談ケース、ニーズ等を把握でき、訪問者から、社会福祉協議会へ情報をいただくことができました。 ・特別定額給付金の説明や申請のお手伝いにつながった。
成果	<p>① 見守り訪問(安否確認等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障がい者等の訪問による安否確認 ・町内グループホームの訪問による安否確認 延べ回数 7,265 件 <p>② 情報提供・ニーズ把握</p>

2. 外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業 収支決算（資金収支内訳表を転記）

事業活動収支	金額(円)	施設整備等・その他の活動 による収支	金額(円)	
経常経費補助金収入	2,390,133	施設整備等収入計 (4)	0	
事業活動収入計 (1)	2,390,133	施設整備等支出計 (5)	196,000	
人件費支出	180,140	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△196,000	
事業費支出	2,013,993	その他の活動収入計 (7)	0	
事業活動支出計 (2)	2,194,133	その他の活動支出計 (8)	0	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	196,000	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	
		当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)	0	
		前期末支払資金残高 (11)	0	
		当期末支払資金残高 (10)+(11)	0	
		収支差額は、	収入計 (1)+(4)+(7)+(11)	2,390,133
		当期末支払資金残高	支出計 (2)+(5)+(8)	2,390,133

⑭ 居宅介護支援事業 サービス区分

1. 居宅介護支援事業の推進（ケアマネジャー） 〈居宅介護支援、介護予防支援の実施〉

介護保険の認定を受けた方について、ご本人の希望や心身の状態・家族状況にあった総合的な、サービス計画（ケアプラン）の作成を行いました。また、市町村より介護保険認定調査の委託を受け調査を行いました。

(1) ケアプラン件数

サービス提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計プラン件数	111	108	110	111	110	111	116	114	119	119	119	118	1,366
要支援プラン件数	23	21	21	23	21	22	21	20	18	16	16	16	238
内 訳	事業対象者	2	2	2	2	1	2	2	2	1	1	2	21
	要支援1	8	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	92
	要支援2	13	12	12	14	13	12	11	10	8	7	7	125
要介護プラン件数	88	87	89	88	89	89	95	94	101	103	103	102	1,128
内 訳	要介護1	30	33	31	30	32	31	32	34	38	40	40	411
	要介護2	24	23	24	24	23	23	27	23	21	22	21	276
	要介護3	24	19	21	20	21	22	23	24	26	26	26	279
	要介護4	6	7	9	10	8	9	9	9	11	11	11	110
	要介護5	4	5	4	4	5	4	4	4	5	4	5	52

〈昨年度実績〉 合計件数(1,297)

(2) 認定調査件数

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
町内	7	5	5	5	8	4	5	5	4	1	3	2	54
町外	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
合計	7	5	5	5	9	4	5	5	4	1	3	3	56

〈昨年度実績〉 合計件数(102)

(3) 地域ケア会議(自立支援型事例検討会)の参加

日程	6月23日、8月25日、9月15日、10月27日
----	--------------------------

2. サービス種類別 計画作成件数 (本会ケアマネジャーが作成したサービス計画のサービス種類)

(1) 介護プラン

	サービス種類	件数	(昨年度実績)
1	訪問介護	408	361
2	訪問入浴介護	53	31
3	訪問看護	293	220
4	通所介護	565	560
5	通所リハ	110	121
6	福祉用具貸与	670	599
7	短期入所	141	126
8	短期入所療養(老健)	6	14
9	居宅療養管理指導	14	20
10	地域密着型通所介護	152	144
	合計	2,412	2,196

(2) 予防プラン

	サービス種類	件数	(昨年度実績)
1	訪問型(独自)	94	110
2	予防訪問看護	21	29
3	通所型(独自)	58	77
4	予防通所リハ	32	19
5	予防福祉用具貸与	133	112
6	予防居宅療養管理	5	13
	合計	343	360

3. 居宅介護支援事業 収支決算 (資金収支内訳表を転記)

事業活動収支	金額(円)	施設整備等・その他の活動による収支	金額(円)
介護保険事業収入	18,947,357	施設整備等収入計(4)	0
事業活動収入計(1)	18,947,357	施設整備等支出計(5)	0
人件費支出	14,238,472	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0
事業費支出	1,538,967	その他の活動収入計(7)	0
事務費支出	44,844	その他の活動支出計(8)	727,440
事業活動支出計(2)	15,822,283	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△727,440
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	3,125,074	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	2,397,634
		前期末支払資金残高(11)	9,088
		当期末支払資金残高(10)+(11)	2,406,722
		収支差額は、収入計(1)+(4)+(7)+(11)	18,956,445
		支出計(2)+(5)+(8)	16,549,723

⑮ ホームヘルプサービス サービス区分

1. ホームヘルプサービス事業の推進（ホームヘルパー） 〈訪問介護・居宅介護・移動支援の実施〉

介護保険の認定を受けた方、障がい福祉サービスの支給決定を受けた方について、ホームヘルパーが自宅を訪問して、身体介護、生活援助等を行いました。

(1) 介護保険事業（訪問介護、総合事業）

① 利用人数

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計派遣件数	56	55	57	59	57	54	52	52	51	53	55	54	655
内 訳	要支援 件数	29	26	26	27	27	24	20	19	19	18	19	273
	事業対象者	9	10	10	10	10	7	7	7	7	6	7	97
	要支援1	5	2	3	4	5	4	2	2	2	3	3	38
	要支援2	15	14	13	13	12	13	11	10	10	9	9	138
内 訳	要介護 件数	27	29	31	32	30	30	32	33	32	34	37	382
	要介護1	13	15	15	14	13	15	15	17	17	19	20	192
	要介護2	5	5	6	5	5	5	8	7	6	6	7	71
	要介護3	4	3	3	5	6	5	5	6	6	6	6	61
	要介護4	2	2	3	4	1	1	0	0	0	0	1	15
要介護5	3	4	4	4	5	4	4	3	3	3	3	43	

〈昨年度実績〉 合計件数(684)

② 派遣内容

内 容	延べ件数	延べ回数	延べ時間
総合事業	273	1,708	1,690:37
訪問介護	382	4,255	3,841:40
合 計	655	5,963	5,532:17

〈昨年度実績〉 延べ件数(684)、延べ回数(5,278)、延べ時間(5,071:28)

(2)障がい福祉サービス事業（居宅介護、移動支援）

① 利用人数

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護	11	9	10	11	13	13	13	12	12	12	11	12	139
移動支援	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
合計	11	9	10	11	14	13	14	12	12	12	11	12	141

〈昨年度実績〉 居宅介護合計件数(128)、移動支援合計件数(50)、合計件数(178)

② 派遣内容

内容	延べ件数	延べ回数	延べ時間
居宅介護	139	1,022	1,011:57
移動支援	2	3	3:00
合計	141	1,025	1,014:57

〈昨年度実績〉 延べ件数(178)、延べ回数(1,281)、延べ時間(1,299:30)

(3)ヘルパーミーティングの開催

月一回	ホームヘルパーのミーティングを開催し、ケースの調整、情報交換、研修などを行いました。
-----	--

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった時もあり。

2. ホームヘルプサービス事業 収支決算（資金収支内訳表を転記） ※訪問介護、居宅介護、移動支援を合算。

事業活動収支	金額(円)	施設整備等・その他の活動による収支	金額(円)
介護保険事業収入	18,538,254	施設整備等収入計(4)	0
障害福祉サービス等事業収入	2,682,427	施設整備等支出計(5)	0
事業活動収入計(1)	21,220,681	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0
人件費支出	16,445,916	その他の活動収入計(7)	67,978
事業費支出	3,118,253	その他の活動支出計(8)	67,978
事務費支出	73,812	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0
事業活動支出計(2)	19,637,981	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	1,582,700
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,582,700	前期末支払資金残高(11)	744
		当期末支払資金残高(10)+(11)	1,583,444
		収支差額は、 当期末支払資金残高	
		収入計(1)+(4)+(7)+(11)	21,289,403
		支出計(2)+(5)+(8)	19,705,959

⑩ シルバー人材センター事業 サービス区分

会員の技術・知識・経験・能力等を十分に生かし、会員相互の連帯のもと、発注者からの仕事を受け、各人の希望や能力に応じた仕事を提供し、生きがいの充実や健康維持などの活力ある地域社会づくりをめざし活動しました。

1. 事業実績報告

シルバー人材センターは、定年退職後等において雇用関係でない臨時的・短期的な就業を希望する高齢者が「自主・自立」「共働・共助」をモットーに、豊富な知識と経験を生かした仕事をすることで、高齢者の健康の増進と生きがいの充実を図るとともに活力ある地域社会づくりをめざす組織であり、そうした趣旨を踏まえ臨時的・短期的な仕事を提供し需給調整を行いました。

(1) 契約金額

(単位:千円)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
992	2,032	2,651	2,719	2,304	2,784	2,344	2,702	1,533	1,767	1,141	1,952	24,921

〈昨年度実績〉 契約金額(26,180)

(2) 会員数・契約金額等

会員数	契約金額 (単位:千円)	就業実人員	就業率(%)
56人 (男40女16)	24,921 (公)12,591 (民)12,330	49	88

〈昨年度実績〉 会員数(58)、契約金額(26,180)、就業実人員(52)、就業率(90)

(3) 月別実績

(単位:円)

月別	就業延時間 (時間)	就業延人員 (人日)	受注件数 (件)					就業 実人員
				配分金	事務費	材料費	契約金額	
4月	759	161	23	791,579	189,981	9,944	991,504	28
5月	1,224	256	36	1,649,878	366,202	16,159	2,032,239	31
6月	1,841	371	61	2,133,625	476,341	40,579	2,650,545	37
7月	1,742	360	37	2,219,949	479,992	19,455	2,719,396	39
8月	1,648	348	50	1,848,274	421,517	34,372	2,304,163	40
9月	1,784	380	44	2,271,789	490,272	21,994	2,784,005	44
10月	1,652	340	48	1,873,636	449,041	21,131	2,343,808	38
11月	1,632	335	36	2,162,696	476,001	63,393	2,702,090	40
12月	1,165	262	11	1,234,836	272,785	25,673	1,533,294	35
1月	1,113	245	2	1,440,974	314,476	11,989	1,767,439	32
2月	913	198	0	926,019	202,878	11,988	1,140,885	27
3月	1,334	281	6	1,626,922	354,007	14,486	1,952,262	35

(単位:円)

月別	就業延時間 (時間)	就業延人員 (人日)	受注件数 (件)					就業 実人員
				配分金	事務費	材料費	契約金額	
合計	公	8,226	1,736	30	10,352,041	2,239,449	0	12,591,490
	民	8,510	1,793	325	9,793,822	2,245,205	291,113	12,330,140
	計	16,736	3,529	355	20,145,863	4,484,654	291,113	24,921,630

〈昨年度実績〉 就業延時間(18,728)、就業延人員(3,824)、受注件数(340)、契約金額(26,180,113)

(4)職群別実績

職群		公・ 民	就業時間 (時間)	就業延人員 (人日)	受注件数 (件)	契約金額 (単位:円)	構成比 (%)
1	軽作業群 (除草・清掃作業等)	公	3,907	991	20	4,906,869	48.7
		民	4,758	1,014	243	7,220,920	
		計	8,665	2,005	263	12,049,715	
2	施設管理群 (庁舎管理等)	公	3,387	540	5	4,412,991	28.0
		民	2,107	345	2	2,576,824	
		計	5,494	885	7	6,989,815	
3	折衝外交群 (水道検針等)	公	847	178	1	3,107,522	12.5
		民	0	0	0	0	
		計	847	178	1	3,107,522	
4	技能群 (植木・大工等)	公	49	9	3	97,608	6.4
		民	736	136	79	1,509,467	
		計	785	145	82	1,607,075	
5	専門技術群 (自動車の運転等)	公	36	18	1	66,500	4.4
		民	909	298	1	1,022,929	
		計	945	316	2	1,089,429	
6	事務整理群 (一般事務等)	公	0	0	0	0	0.0
		民	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
7	サービス群 (家事一般等)	公	0	0	0	0	0.0
		民	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
合計		公	8,226	1,736	30	12,591,490	100.0
		民	8,510	1,793	325	12,330,140	
		計	16,736	3,529	355	24,921,630	

〈昨年度実績〉 就業時間(18,728)、就業延人員(3,824)、受注件数(340)、契約金額(26,180,113)

(5) 公共・民間の受注先

公 共	管理業務	①役場宿直業務 ②浄るりシアター管理業務 ③生涯学習センター管理業務 ④住民サービスセンター管理業務 ⑤保健福祉センター管理業務
	清掃業務	①役場庁舎内清掃業務 ②浄るりシアター清掃業務 ③保健福祉センター清掃業務 ④公衆便所清掃業務 ⑤能勢浄化センター清掃業務 ⑥豊中高等学校能勢分校清掃業務 ⑦生涯学習センター清掃業務 ⑧交流促進施設清掃業務
	その他業務	①水道メーター検針業務 ②町関係施設草刈作業
民 間	管理業務	①ふれあいセンター管理業務 ②国体記念スポーツセンター管理業務 ③豊能警察署内空調管理業務
	清掃業務	①国体記念スポーツセンター清掃業務 ②物産センター清掃業務 ③ふれあいセンター清掃業務 ④マンション清掃業務
	その他業務	①にしうら内科外科クリニック送迎業務 ②個人からの業務（草刈り、植木剪定、草引き、清掃、伐採、畑作業、栗拾い等）

2. シルバー会員の状況

シルバー会員の会員数、登録動機、希望職種など、詳細の状況を報告します。

(1) 会員数と年齢等について

項目	令和3年3月末	令和2年3月末	比較
会員数	56名(男40:女16)	58名(男41:女17)	△2名(男△1:女△1)
男性平均年齢	73.1	72.8	0.3
女性平均年齢	72.7	72.5	0.2
平均年齢	72.9	72.7	0.2
年度末人口	9,598	9,814	△216
60歳以上人口	4,780	4,778	2
会員粗入率	1.17	1.21	△0.04

(2) 会員の年齢層について(令和3年3月末現在)

年齢層	60~64	65~69	70~74	75~79	80歳以上	計
男性	1	9	16	9	5	40
女性	2	2	5	4	3	16
計	3	11	21	13	8	56

(3) 会員登録の動機（重複回答含む）

	登録の動機別	令和3年 3月末（人）	構成比 （%）	令和2年 3月末（人）	構成比 （%）	比較 （人）
1	健康のため	33	38	32	35	1
2	家計の補助	18	21	21	23	△3
3	社会に役立ちたい	14	16	16	17	△2
4	小遣いがほしい	12	14	14	15	△2
5	友達がほしい	6	7	5	5	1
6	能力を発揮したい	4	4	5	5	△1
	合計	87	100	93	100	△6

(4) 会員の希望職種（重複回答含む）

	希望職種	令和3年3月末（人）	率（%）	職種内容
1	軽作業	40	32.5	清掃・除草、草刈（機械）、ポスター貼り、ビラ配り、広報紙配布、手内職
2	施設管理	23	19.2	守衛、倉庫管理、公共施設維持管理全般
3	外交等	19	15.5	店番、配達、集金
4	サービス	14	11.4	家事一般、子守、留守番、話し相手、通院等付添
5	事務	11	8.9	宛名書き、賞状書き、書類整理、一般事務、毛筆・筆耕
6	技能	10	8.1	大工・左官・塗装、造園・植木剪定・表具・建具修理、部品組立
7	その他	6	4.9	車運転等
	合計	123	100	

(5) 就業実人員、就業率、配分金等

項目	令和3年3月末	令和2年3月末	比較
就業実人員	49人	52人	△3人
就業率	88%	90%	△2%
就業延人員	3,529人	3,824人	△295人
配分金	20,145,863円	21,362,074円	△1,216,211
配分金1人当り平均年額	411,140円	410,809円	331円

3. 会員研修について

シルバー人材センターでは、毎年3月に会員を対象として研修会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、前年度に引き続き研修会は中止しました。

4. 安全指導員(大シ協)のパトロール実施について

会員の安全就業は、シルバー事業の基本であり、事故ゼロを目指し就業現場への巡回指導と安全用具着用を徹底するとともに、安全就業の周知(現場・社協だよりの活用等)を図りました。

例年実施されている、大阪府シルバー人材センター協議会の指導員による現場パトロールについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、実施されませんでした。

5. 傷害事故発生の推移について

令和2年度から令和4年度までの全国統一スローガンは、「いつまでも 働く喜び 無事故から」です。

会員の皆さんに共通して大切なこと「・仕事を仲間と分かち合って仲良く就業する。・安全確保は最優先である。安全＝自己管理」

傷害事故発生の推移(平成23年度～令和2年度迄)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
事故件数	1	0	0	1	1	2	0	0	1	2
就業中	1	0	0	1	1	2	0	0	1	1
途上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

6. 北部ブロック合同シルバー人材フェスティバルの参加について

毎年10月に行われている「北部ブロック合同シルバー人材センターフェスティバル(豊中市・池田市・摂津市・吹田市・茨木市・箕面市・高槻市・島本町・能勢町・豊能町のシルバー人材センター)」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、開催されませんでした。

7. 会員による製品販売の取り組みについて

平成19年度の「小物手作り教室」をきっかけとして、会員による「小物手作り教室」が定期的に行われています。

限られたイベント時などに販売を行っていますが、更に、創意・工夫を凝らし、自主的に企画し、イベント時にとどまらない取り組みが必要であり、引き続きセンターとしても支援していきます。

9. シルバー人材センター事業 収支決算（資金収支内訳表を転記）

事業活動収支	金額(円)	施設整備等・その他の活動による収支	金額(円)
シルバー人材センター事業収入	28,639,038	施設整備等収入計(4)	0
事業活動収入計(1)	28,639,038	施設整備等支出計(5)	0
人件費支出	4,534,232	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0
事業費支出	22,229,626	その他の活動収入計(7)	0
事務費支出	53,048	その他の活動支出計(8)	700,000
負担金支出	30,000	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△700,000
事業活動支出計(2)	26,846,906	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	1,092,132
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,792,132	前期末支払資金残高(11)	6,559,802
		当期末支払資金残高(10)+(11)	7,651,934
		収支差額は、 当期末支払資金残高	収入計(1)+(4)+(7)+(11) 35,198,840
			支出計(2)+(5)+(8) 27,546,906